

## 北米 業界団体が持続可能な農産物包装ガイドラインを策定へ

[The Packer 2024年6月27日](#)

西部生産者協会(米国の家族経営農家の団体)とカナダ青果物マーケティング協会(CPMA)は、北米全域で政府と小売業者の双方から求められる包装要件の新たな状況に対処するため、作業部会を立ち上げた。

ニュースリリースによると、農産物の包装の現状について議論し、北米における持続可能な農産物包装の調和(SPPA)の目標を概略設定するため、北米全土から数十の生産者団体が集まった。

SPPAは、2025年12月の完了を目標に、北米の青果物サプライチェーン全体で使用する統一ガイドラインを策定する。

西部生産者協会の会長兼CEOであるデーブ・プーリア氏はリリースで、「包装は、青果物の品質、手頃な価格、安全性を確保するための鍵である。消費者は、生産者に高品質の青果物と包装の変更を求めている。そのため、業界は公共部門と民間部門の両方からの新しく前向きな要求に直面している。しかし、これらの要求は互いに対立することも多く、業界の現実と進歩を完全に認識しているものでもない。最も重要なパートナーとの取引を継続するとともに、消費者が栄養価の高い食品を引き続き入手できるようにするため、持続可能性と包装の交点を見出す必要がある」と述べている。

CPMAのロン・ルメール会長はリリースで、「包装は、北米及び世界の青果物サプライチェーンの持続可能性を実現する上で重要な役割を果たしている。包装に関する市場の要請と規制の要件が乖離する傾向は、青果物のサプライチェーンにとって重大なリスクであり、したがって、青果物包装に関する北米ガイドラインを策定し採用することが戦略的に重要である」と述べている。

リリースによると、西部生産者協会とCPMAは、カナダの食料品店で許容される青果物の包装を制限するカナダ環境・気候変動省(ECCC)の事前提案に積極的に取り組んでいる。同省は現在、農産物のプラスチック包装の大幅な削減を提唱しており、2026年までにすべての農産物の75%をバラ売りまたは非プラスチック包装で販売し、2028年までにこれを95%に引き上げることを求めている。

SPPAプロジェクトは、米国の特産作物\*の生産者向けに、業界に焦点を当てた分析、白書及び青果物包装技術に関するウェブツールの開発；関係者の教育と調整を行うワークショップの開催；業界の専門知識を活用して上記のツールを作成するための技術作業部会会合の開催；及びガイドラインが利用可能になった際にその使用方法を利害関係者及び一般に知らせるリソースの立ち上げを計画しているとリリースは記述している。

\*特産作物は、米国の「2004年特産作物競争力法」に定める果実、野菜、ナッツ類、薬草、花き、苗木等